

## グラミネックス社のポーレン(花粉)エキス

Pollen Aid™

Graminex L.L.C.

95 Midland Road, Saginaw, MI 48603

U.S.A.

[www.graminex.com](http://www.graminex.com)

**ポーレンエキスについて ;**

**女王バチの完全食、花粉とは ;**

育児役の働きバチが巣房に蓄えられた花粉をたくさん食べ、そして花粉は働きバチの唾液腺である下咽頭腺と大腮腺で生合成され、乳白色のローヤルゼリーとして分泌されます。ミツバチの体内でローヤルゼリーの元となる**花粉は古くからパーフェクトフードとも呼ばれアミノ酸、ミネラル、ビタミン類、カロチノイド、酵素類、脂質、脂肪酸などの成分がバランス良く含んでいます。**

花粉は女王バチと女王バチ候補の幼虫にだけ与えられる特別食でもあり、ローヤルゼリーを食べた女王バチは多いときには一日に 2000 個の卵を産み続けることができ、また働きバチの寿命が約 1 ヶ月であるのに対して、女王バチはその 40 倍の 4 年ほども生きられ、体重も働きバチの約 2 ~ 3 倍にもなります。

しかし残念ながら**花粉は二重の強固な殻からできており、強い耐酸性と耐熱性(約 300 度でも破壊されない)の為に人間が食べてもほんの少ししか消化、吸収することができません。**また、ハチ花粉にはハチの羽根、足などさまざまな汚染物質が付着していること、また、花粉症の原因とされる物質がくっついていることから好ましい食べ物とは言えません。

**グラミネックス社の花粉エキス ;**

グラミネックス社ではそのような強固な殻からできている花粉の中にある栄養物を損なうことなく特殊な技術を駆使して取り出すことに成功し、皆様のお手元にお届けすることができるようになりました。

グラミネックス社が提供する花粉エキスは実にユニークな相乗機能的作用を持つ最も驚くべき食べ物であることを理解してもらえたらと、願っております。

原料となっているのは**ライ麦、とうもろこしやチモシーの花粉**で、オハイオ州にある広大な農場で農薬を一切使用せず、遺伝子操作のなされていない種を使用して巨大な機器類を駆使しながら数日間の間に花粉を収穫、ただちに大きなサイロに保管されます。

花粉は収穫時に強い風が吹くとその年は収穫ができなくなることもあるため、常に花粉エキスの原料となる花粉は安定供給のため 2 ~ 3 年分の備蓄を持っています。

**グラミネックス社は ISO 9001, Q9001-2000, nG.M.P.を取得し高品質の維持と安定に心がけております。**

## 花粉の中身は二つの部分から成り立っています。

恐らく花粉は自然界が作り上げたもっともユニークなものであり、合成したり、実験室で作りだしたりすることのできないものです。その中身は **G60(水溶性成分)と GFX(脂質溶解性成分)**と呼ばれる二つの成分からできており、グラミネックス社ではそれぞれの成分を、溶剤を使うことなく別々に抽出した後、その**成分を 20:1 の比率で複合化させて G63**という製品に仕上げます。花粉中の栄養成分というのは、細胞、組織そして体のシステムにとって相互に作用しあう触媒作用を持った総合的栄養物なのです。

人類は花粉の中身について**実際 1980 年代までどのような組成になっているかを知りませんでした。驚いたことに、それまで人類が知るどのような物質よりも重要なバイオフィクターから構成されていることがわかったのです。**

**22 種類すべてのアミノ酸、27 種類のミネラル、すべてのビタミン類、多くの酵素、補酵素、それに**

**25の微量元素などが含まれていました。またカロチノイド、フラボノイド、フィステロールなど生命を維持するに必要な物質は全て含まれているという学者もいます。**

**実に 100 以上の生物学的活性を持つ栄養物が存在することがわかってきました。**

グラミネックス社の花粉エキスはその内容成分の一部でも分離、除去されてしまうことで、その効果的な体に対する機能を削減してしまうことを説明したいと考えております。

体の中で不足している栄養成分やビタミンが治療目的で、たとえ短期間であっても使用されるような場合には、グラミネックス社の花粉エキス(ビタミン、ミネラル、アミノ酸、脂肪酸、酵素、および他の微量元素の複雑な成分が完全な比率で構成されている栄養物)を摂取することは栄養欠乏症を改善するには最も効果的な方法と言えます。

不足している栄養分を補い、病気を治そうとして過剰な量のビタミンやミネラルを摂取しても、体が要求する栄養物はそのような複合物を必要としているのであって生物学的にあまり効果的な方法とは言えません。

グラミネックス社の花粉エキスは「次の植物を生み出す生命の源」である花粉を原料としています。

最近の研究によると、ある種のビタミンとミネラルの間には他のビタミンとかミネラルの吸収と同化を促進する触媒作用があることがわかっています。

グラミネックス社の花粉エキスの構成成分である G60と GFX の中にある栄養物は、精密な分析で証明されているように複雑な栄養素複合体となっており、それぞれが相互に相乗的に働くと考えられます。

この理由のために、グラミネックス社の花粉エキス G63(G60 と GFX の混合体)のようなバランスのとれたサプリメントを毎日摂るのは他のいろんな治療目的で取られているサプリメントに追加して飲用されるべきだと考えます。

### **化学的組成：**

**水溶性物質：** G60

**アミノ酸、必須アミノ酸、ビタミン B 群、コリン、チアミン、リボフラビン、ニアシン、B6、B12、パントテン酸、葉酸、イノシトール、酵素、フラボノイド、**

**脂質溶解性物質：** GFX

**カロチノイド、ビタミン D、ビタミン A、D、K、極性、中性脂質、植物ステロール、**

### **体内の細胞、器官、および組織：**

前立腺に関する病気と肝臓疾患の間には同じ因子によって重複した類似性があることに注意するのは興味深いことです。

脂肪分の多い食事、赤身肉の摂取、アルコールと化学物質の摂取、運動不足、新鮮な果物や野菜の不足、ストレスが多い現代のライフスタイル、および環境を取り巻く有害物質などがこれらの病気をもたらす因子となっています。

グラミネックス社の花粉エキス G60 と GFX は、最適な健康状態をもたらし、維持するのに必要な栄養物を補給するために細胞レベルで働く治療的栄養物を提供します。

例えば、病的な肝臓は、前立腺ホルモンやフリーラジカルの副産物を効果的にろ過する能力を奪い去ってしまいます。

これらの毒性のある副産物は、前立腺肥大、細胞破壊へと導く働きをし、体内を循環しながらそれは磁石のように行動します。

男性の場合にはしばしば、肝臓疾患の患者は付随して前立腺の病気に罹患しています。

ですから肝臓と前立腺の病気に必要とされる科学的に勧められるサプリメントの種類はほとんど同様のものです。

### **フリーラジカルと戦う抗酸化剤としてのグラミネックス社の花粉エキス；**

グラミネックス社の花粉エキス等のサプリメントがフリーラジカルをやっつけ、無毒化し体を保護する目的で食事以外に摂取されることは望ましいと言えます。

過度のフリーラジカルの存在は細胞や組織に損傷を与えます。

フリーラジカルが過剰にあるとますます体内にさらにフリーラジカルが増幅されていきます。

グラミネックス社の花粉エキスはこのようなフリーラジカルが増えるのを防ぐ働きをします。

高濃度のフリーラジカルは細胞自身の遺伝子コードを書き換えるかも知れません。

フリーラジカルによって形成される突然変異群は他の多くの疾病と同様に白血病やその他のタイプの癌を引き起こす可能性があります。

抗酸化物質にはビタミン A、ベータカロチン、ビタミン E、ビタミン C、フラボノイド、およびセレンウム等に含まれています。

**そのすべてがグラミネックス社の花粉エキスの中に存在しているのです。**

フリーラジカルは細胞の保護膜を損傷し、細胞内における流動性を妨げ老化を引き起こすこととなります。

### **グラミネックス社の花粉エキス(G60 と GFX)の機能 ;**

グラミネックス社の花粉エキスを構成している (G60) 水可溶性抽出物と、(GFX) 脂質可溶性抽出物とは複合的に相乗効果を発揮します。

水溶性栄養素は細胞、器官、および組織に吸収され利用され、直ちに使用され、4~6 時間以内に対外へと排泄されてしまいます。

脂質可溶性の栄養素はなくなるまで 48 時間位かけて体内に保持され使用されてしまいます。

### **前立腺炎 ;**

前立腺に関する病気は男性の場合には 40 歳以上で比較的一般的に発症します。

アメリカでは 50 歳台になると、50~68%の男性が、また先進国においては 70 歳までには 80%の男性が前立腺肥大になっていると考えられます。

WHO では前立腺肥大に悩む男性の内 37%が手術を受けねばならないという状況になっております。

今までに、欧米や日本で医療機関による二重盲検法を含む多数の臨床試験において**花粉エキスが良性の前立腺肥大(BPH)、非細菌性脳動脈瘤前立腺炎、慢性前立腺炎様症候群、および膿精液治療**の目的で利用されてその治癒の効果が確認されています。非特異性尿道炎でも同様の所見を得ています。

花粉抽出物は、抗炎症性の長鎖アルコール、プロスタグランジン前駆体としての不飽和脂肪酸、必須アミノ酸、アミノ酸およびフィステロールが複合化し、患者の病状を改善することがわかっています。

その結果にはレベルに差はあるものの、排尿障害の減少、継続的または、陰囊の疼痛の減少または除去(下部尿道悪化)、健康で活発な動きをする精子数の増加等をもたらします。また、注目されるべきは、細葉腺の内腔における神経向性多形核白赤球での減少でした。

### **膀胱と泌尿器系 ;**

水溶性と脂質可溶性部分を組み合わせた花粉エキスを毎日飲むことで、夜間多尿症の徴候や排尿障害をかなりなレベルで改善できると報告されています。また、残留尿量の減少についても注目すべき改善がみられます。

他の働きとして尿の流速が増し、尿が出始めて、終了させる能力、尿滴下量の減少、トイレへ行く回数の減少、尿漏れ、および尿失禁において有効な結果がでています。

### **薬物、アルコール中毒に関連した肝臓解毒作用 ;**

エチオニンの毒性作用から肝臓細胞を有効に保護するには、体重に対して 50mg/kg、適用量と

して 200mg/kg の花粉抽出物を 14 日間以上使用すると効果が期待されます。

アリアルアルコールの投与に続く花粉抽出物の投与によって、測定に評価基準として使用されるトランスアミナーゼ、ホスファターゼ、およびビリルビン活性が増大したことで、さらに損傷が減少しました。

### **花粉抽出物の肝臓を保護する効果は歴病理学的な調査で確認されています。**

花粉抽出物は実際、ガラクトサミン中毒によってもたらされた損傷の多くを防止しました。血液脂質血小板凝集を減少させます。

花粉エキスによってもたらされた栄養物は動脈と静脈の血小板凝集の減少をもたらす血液脂質の処理と除去に大いに貢献します。

### **免疫系機能と免疫向上 ;**

花粉抽出物の抗炎症性機能はサイトカインの阻害作用から生じると信じられています。

サイトカインは望まれない感染症や変化した細胞の攻撃と交信し調整するための細胞によって作りだされた化学物質です。

いくつかの臨床試験で、インターロイキン-8 がバクテリアに侵入しながら撃退するマクロファージへの好中球引力をもたらすのにおいて影響を受けるように見えます。

好中球は、走化性(組織へ侵入している有機体や抗原または炎症から生じる残骸を摂取するのが必要な細胞の漸増)に対してバクテリアに侵入されないよう食細胞として機能します。

### **花粉症の症状を軽減 :**

**最近、世界中で問題となっている花粉症に対する臨床試験がすでに 1985 ~ 1986 年のそれぞれ 3 月から 7 月にかけてスイスで行われております。臨床試験では 3 ヶ月間の経口投与により副作用に煩わされることなく、かゆみ、くしゃみ、鼻水などの花粉症のアレルギー症状を軽減することができました。花粉エキスの投与はさまざまなアレルギー疾患にも同様な作用を呈します。実際、花粉の飛散の数ヶ月前から花粉エキスを飲み続けると、春先の杉やヒノキ花粉の飛散が開始されても、以前のように体がアレルギー反応を示さなくなり、継続的に飲み続けると翌年にはほとんど普通人と同様な生活を送ることができるようになることが期待されます。**

### **グラミネックス社の花粉エキス G60 と GFX の効力 ;**

#### **精液に対する影響 ;**

精液は一回の射精ごとに栄養分を無くしていきます。

花粉エキスは、生命に必要な栄養分を含んで、射精の際に失われる栄養分を補う働きをします。射精精液の 90%以上は精液の移動性と生存率を助ける前立腺にあるアルカリ性の精液です。最高点尿流速の増大、前立腺の炎症の収縮と回復が期待され、不妊症の治療に利用されています。

### **泌尿器系；**

花粉抽出物の併用は反アンドロゲンと(非ホルモン性)効果、大きくなった膀胱筋肉の調節、尿の平滑筋の緊張緩和、およびプロスタグランジンとロイコトリエン合成の阻害において泌尿器系に良い影響を与えます。

下記の泌尿器系疾病にかかわる前立腺のサイズ縮小への役目；

尿流量の制限、頻度、尿の始始め/停止時における尿流の出が悪い、排尿痛、血尿、骨盤の、または、腹部の不快感、完全な尿排出困難症、PSA 値の減少を助ける。

人間での臨床試験において、花粉抽出物は複雑な要因が除外された場合には、このような症状に明白な効果を持つことが示されている。

膀胱頸部の狭穿症、前立腺結石、尿道狭窄症、細菌感染、または他の複雑な要素:

### **薬物とアルコール中毒に関連した肝臓解毒作用；**

結果として肝臓傷害の減少となる毒性パラセタモールの継続的投与により引き起こされた肝臓傷害の生化学、形態学的顕現な正常化。

グルタチオンの役割は花粉抽出物の防御活性のメカニズムにおいて重要です。

アリルアルコールのみを投与された動物において、花粉抽出物の併用で、血清酵素活性の大幅な減少の引き金となります。

### **肝臓-血液脂質と血小板凝集を減少させる；**

シチエンのメデイカルアカデミーの L.Samochowiec と J.Wojcicki 教授は、花粉抽出物の生体外、生体内での血液中の血小板凝集と脂質への効果を薬理学の面で研究をしました。1982 年の報告では、39 ~ 56 歳のそれぞれ 10 人の健康な女性と男性にテストしました。2 週間後に、凝集の敷居値は 82%増加しました。

凝集の速度は大幅に減少しました。総脂質、トリグリセリド、および総コレステロールレベルが減少しました。

### **免疫系機能と免疫；**

スティーブンマークベンデル博士は 1975 年に花粉抽出物で首尾よく 88 名のホンコン型インフルエンザを治療しました。比較グループではビタミン C を投与され、被験者は準備された花粉エキスを投与されました。他のすべての薬物については両群とも変わりありませんでした。

病気の持続は 4-6 日間から 48 時間まで短縮されました。

花粉エキスの摂取は免疫を上げ、風邪、インフルエンザに対してポジティブな影響をもたらします。

### **グラミネックス社の栄養物 ;**

グラミネックス社の花粉エキス G60--水溶性部分は必須アミノ酸とアミノ酸類:

G60 には体が必要とするタンパク質を生産するに必要なすべての必須アミノ酸、アミノ酸類が含まれている。

アミノ酸類は、ビタミンとミネラルが適切に彼らの仕事を実行するのを可能にします。

アミノ酸類は体内の様々な臓器で作られ蛋白質合成の助けとなるものです。

体内では、肝臓が必要とされるアミノ酸類のおよそ 80 パーセントを生産します。

必須アミノ酸は体内では合成できないもので食物やサプリメントから摂取しなければなりません。

必要アミノ酸のすべては、他のアミノ酸類が窒素バランスを維持するのに利用されるために食物の中に同時に存在していなければなりません。

メチオニンとタウリンのアミノ酸代謝の欠乏や損傷はアレルギーと自己免疫異常に関連している。あるアミノ酸類には、長期間高濃度で摂取すると潜在的に毒性を持つものがあります。

### **グラミネックス社の花粉抽出物 ;**

G60 には自然が計算した蛋白合成の比率で必須アミノ酸、アミノ酸類を含んでいます。必要アミノ酸は窒素バランスを保つのと、蛋白質摂取に必要で、結果として窒素バランスを保ちます。たんぱく質から摂取される窒素量が糞尿で失われた窒素とほとんど等しいときに、窒素バランスが保たれます。経口投与か静脈注射で与えられた花粉エキスはアミノトランスフェラーゼ活性の上昇、炎症性プロセス、壊死、および肝細胞の狭窄症を抑制するか、または打ち消すことがわかっています。

### **B 複合体ビタミン類 ;**

神経、皮膚、目、髪、肝臓、および口の健康維持

花粉エキスは、酵素類が化学的にエネルギー生産にかかわる他の物質と反応するのを助けるために補酵素として機能します。

### **前立腺を健康に保つのに必要な栄養物 ;**

ビタミン B1、リボフラビン、ナイアシン、B6(ピリドキシン)、葉酸、B12(シアノコバラミン)、パントテン酸、ビオチン、PABA、イノシトール、およびコリン。

この種類の栄養物は脂溶性ビタミンと同一程度に体内に保存することができません。

これのために、ビタミン B 複合物などの水溶性ビタミンでは、欠乏がより起こりがちです。

### **コリン ;**

腎臓で水分バランスを維持するのに利用され、メチオニン形成のためのメチル基の源として肝臓で使用されます。

それは神経刺激伝達、胆嚢調整、肝機能、およびレシチン生産を助けます。

コリンはコレステロール値を下げたり血圧を下げたり腎臓の栄養分として必要で処理する脂肪に関連する肝臓健康と栄養物として腎臓で必要である。

コリンを採る最も良い方法はイノシトールと同量で、ビタミン B、ビタミン A、

およびリノール酸(グラミネックス社の花粉エキスに含まれたすべて)で。

コリン、脂肪、イノシトール、必須不飽和脂肪酸がレシチンを作り、ビタミン B 6 やマグネシウムを含む補酵素が必要となります。(グラミネックス社の花粉エキスに全て含まれています)

### **イノシトール:**

目の健康、脳の中の特別な細胞、骨髄 および腸にとり必要です。

イノシトールは細胞膜の適切な形成に必要です。

それは、体内で神経伝達に影響を与え、脂肪類を運ぶのを手伝います。

それは、また、健康な髪の本質を促し、毛髪脱落を予防すると報告されています。

糖尿病患者においては、イノシトールの排泄量が増えるという報告がありますが、イノシトール欠乏症に関する明白な報告はされていません。

### **ビタミン C:**

フラボノイド、カルシウム、およびマグネシウムといっしょに摂取することが望ましい。

抗酸化性質を高めるために、他の抗酸化剤といっしょにとることで相乗効果が期待されます。結合組織、神経伝達物質、ステロイドホルモン、カルニチンの合成に必要です。

抗酸化物質としてのビタミン C(アスコルビン酸)。

組織の生長と修復、癌から守ります。鉄の吸収を増加させます。コレステロールを胆汁酸へ変換、健康な細胞を促進します。適切なカルシウム吸収、傷と熱傷治癒を促進します。

血液凝固と挫傷の防止。毛細血管壁を強化します。免疫系を高めます。

動脈硬化のコレステロール低下と防止における役割。

### **酵素類:**

グラミネックス社の花粉エキス G60 は、細胞エネルギーを提供するのに必要なアミノ酸を分解し、炭水化物を消化し脂肪や脂質を消化しミルクやミルク製品を消化し、細胞に必要なエネルギーを提供するのに必要な触媒反応に関係のある6種類の酵素を含んでおります。

グラミネックス社の花粉エキスには自然に含まれている酵素、オキシドレダクターゼ、トランスフェラーゼ、加水分解物、融解酵素、異性化元素があり、体が栄養物を吸収するのに必要なものです。酵素類のこの組み合わせは体内の基質炭水化物、たんぱく質、繊維、および脂肪を助けます。

### **フラボノイド:**

グラミネックス社の花粉エキス G60 は重要な酸化防止活性を提供する重要なフラボノイドを含んでいます。これらのフラボノイド類の存在は、連鎖球菌抑制要素を提供するストレプトリシン阻害要素について説明するのを助けるかもしれない。

### **グラミネックス社の花粉抽出物 G60 の効力 ;**

#### **健康な前立腺維持 ;**

グラミネックス社の花粉エキスにおける抗酸化物質、アミノ酸、およびフラボノイド類はすべて引き寄せられて、前立腺に集まる傾向がある。

花粉エキスはそれらの相乗効果を発揮します、それは、前立腺のサイズを縮小させ充血を緩和させます。

#### **泌尿器系 ;**

花粉抽出物は、膀胱に平行している尿道の平滑筋組織の緩和を引き起こすことにより完全な排尿をもたらします。また、それらは線維芽細胞と上皮細胞の成長の分裂促進抑制剤として機能する。

#### **健康な肝臓 ;**

グラミネックス社の花粉エキスに含まれるビタミン B 群は複合化補酵素として、酵素が肝臓内で消化(統合)脂肪を減少させる化学反応に反応するのを助ける。

グラミネックス社の花粉エキスにおけるアミノ酸類は、肝臓によってグルコースに変えられ、必要なエネルギーを細胞に供給し、結果としてアンモニアになる。

そして、肝臓はアンモニアを腎臓でろ過し、泌尿器系で排泄されるそれほど毒性を持たない尿素に変換します。

アミノ酸複合体サプリメントを提供することで肝臓疾患での、蛋白質生合成を支援することができます。

### **グラミネックス社の花の花粉抽出物 GFX 脂質可溶部分 ;**

#### **脂溶性ビタミン ;**

グラミネックス社の花粉エキスは脂溶性ビタミンを含んでいます;

プロビタミン A(カロチノイド)、D、E、および K、これらのビタミン類は、不可欠の抗酸化物質であり、体内の利用たんぱく質、カルシウム、およびリンを助けます。

ビタミン E は破壊されて、ビタミン K 調節血液凝固因子から他の脂溶性ビタミンを保護します。

#### **プロビタミン A:**

レチノール、デヒドロレチノール、および野菜:

アルファカロテン、 -カロテン、ガンマカロテン、およびクリプトカロテン。

グラミネックス社の花粉エキスは野菜プロビタミン A を含んでいます。体は、自らビタミン A を製造するために β-カロテンを必要とします。ビタミン A は暗所視、健康な皮膚、および免疫系に必要です、抗酸化性(汚染、癌、老化防止と同様に他の疾病にかかりにくくします)。

### **ビタミン D ;**

骨成長と強い歯を助けて、ビタミン D はカルシウムの吸収を増加させます。

最近の研究は乾癬、免疫のシステム機能、甲状腺機能、血液凝固の領域に可能な利益を示します。

### **ビタミン E ;**

ビタミン E は有効なたんぱく質連鎖破壊です、と脂質の可溶性の抗酸化物質(細胞防御におけるどのエイズ)はセルの酸化に話したか、不安定なフリーラジカルの中和、心臓病、卒中、炎症性関節腫脹、老化、癌腫、および糖尿病に関連する変性変化の防止。

### **ビタミン K ;**

ビタミン K は正常な血液凝固に必要です。

あなたの食物におけるビタミン含有量 K は、抗凝血薬がどれくらいよく働くかに影響するかもしれません。

ビタミン K の欠乏は、まれですが、凝固する血液に関する問題、増加する出血時間、および減少している凝固時間を引き起こすかもしれません。

出血の問題を防止する目的で、きまりきってビタミン K を新生児に与えます。

### **極性の、そして中性の脂質 ;**

体内から脂肪類を分解する(アテローム性動脈硬化防止に役立つ)のに役立つことによって重要な臓器が肝機能トラブルの脂肪類

脂肪酸の中に20の独立した酸が確認されました。

ステロールとステロリン(フィトステロール)

1950 年代に、植物ステロールのコレステロール低下効果は、「植物ステロールの投与による血清コレステロール値の低下」米心臓病協会に特定され確認をされました。

植物ステロールとステロリンはライ麦、とうもろこし、および小麦で最も高い濃度で見いだされます。(ライ麦ととうもろこしはグラミネックス社の花粉抽出物の生産に使用される 2 つの植物種です)極性の、そして、中性の脂質は、以下で GFX の効力で植物ステロール、ステロリン、および様々な応用を寄贈するので、分類されています。

### **グラミネックス社の花粉抽出物 GFX の効力**

前立腺の健康 ;

カロチノイドと抗酸化ビタミンは、前立腺からフリーラジカルを除去する手助けをします。

植物ステロール、プロスタグランジン、およびフィトステロールは全て重要な成分であり前立腺のサイズを正常な大きさに修復して、機能するように細胞レベルで機能します。

## 健康な肝臓 ;

側鎖においてはのみ構造的に異なっておりますが、植物ステロールとスタノール(飽和誘導体)はコレステロールに類似しています。

構造的類似性により植物ステロールとスタノールはコレステロールが吸収される間、消化管前部でコレステロールと競合します。

植物ステロールとスタノールが消化管前部に十分な量存在しているなら、腸壁の向こう側で肝臓に輸送されるコレステロールの量は減少し、総血清コレステロールと低密度リポ蛋白質(LDL)コレステロール値を低下させます。

十分な量の GFX を飲むと、GFX は、コレステリン分子の行為をまねることによって腸管から肝臓まで輸送されたコレステロールの量を減少させるのに有効な十分な植物ステロールとスタノールを消化管に供給します。

腸吸収は最も大きいコレステロール供給元である食事と胆路性(内因の)から届けられ体内に供給します。

GFX のコレステロール低下能力の研究は、件数が限られており、まだ調査が継続中です。

## 免疫系 ;

グラミネックス社の花粉エキスは、自然な量の植物ステロールとステロリンにより体の細胞によって必要とされる正確な比率でもって免疫システムのバランスを促進する。グラミネックス社の花粉エキスは、植物ステロールとステロリンの自然界の比率を保つために特別に注意を払っています。

## さまざまな期待される作用 ;

花粉症治療、前立腺関連治療、尿漏れ、ED、免疫向上、精液、精子製造能力増大、不妊治療、男女のリビドー向上、抗酸化作用、抗ガン作用、抗炎症作用、二日酔い予防、解毒作用、アレルギー症状の緩和、男女更年期障害の緩和、生理痛緩和、生理不順、スタミナ増強、持久力向上、にきび、皮膚の賦活再生促進、筋力増強、呼吸器系の病気にかかりにくくなる、つまり風邪、インフルエンザにかかりにくくなる、造血作用、便秘解消、肝臓病(血中アルブミンをガンマアルブミンへ転換)骨折が早く治癒、ストレスの軽減、増毛、躁鬱の改善、精神安定、放射線治療中での副作用軽減、快眠、気分が落ち着く、高齢者の食欲増進、物忘れの減少、血液組成改善、貧血改善、手の震えの減少、手足の血行障害改善、便秘軽減、整腸作用。

詳しくはグラミネックス社のウェブサイトを参考ください。

[www.graminex.com](http://www.graminex.com)